



TITLE:

近畿イニシアの活動10年とこれからの課題

AUTHOR(S):

井上, 恵美

CITATION:

井上, 恵美. 近畿イニシアの活動10年とこれからの課題. 第12回 学術情報ソリューションセミナー 2016 in OSAKA. The Age of Discovery ～コペルニクスの転回を超えた学術情報の新たな波～, 事例発表3 2016: 1-16

ISSUE DATE:

2016-06-22

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/226345>

RIGHT:

近畿イニシアの活動10年と これからの課題

平成28年6月22日（水）

京都大学附属図書館利用支援課 井上恵美
（大学図書館近畿イニシアティブ運営委員）



本日の内容

- 大学図書館近畿イニチアティブについて
- 近畿イニシアの特徴
- 今後の能力開発について
『大学図書館職員の専門性と専門研修のあり方について
(報告書)』(平成27年12月)のご紹介



ロゴについて



■ 平19 公募を行い運営委員会にて決定

Kinki **R**egional **A**cademic **L**ibraries **I**nitiative

コンセプト: 連携と協力

字体は「輝き」を連想させるデザイン、文字の背景は「本」を開いた様子を図案化し、また「架け橋」「虹」をモチーフとしている。



「運営要綱」と組織図

運営要綱

(趣 旨)

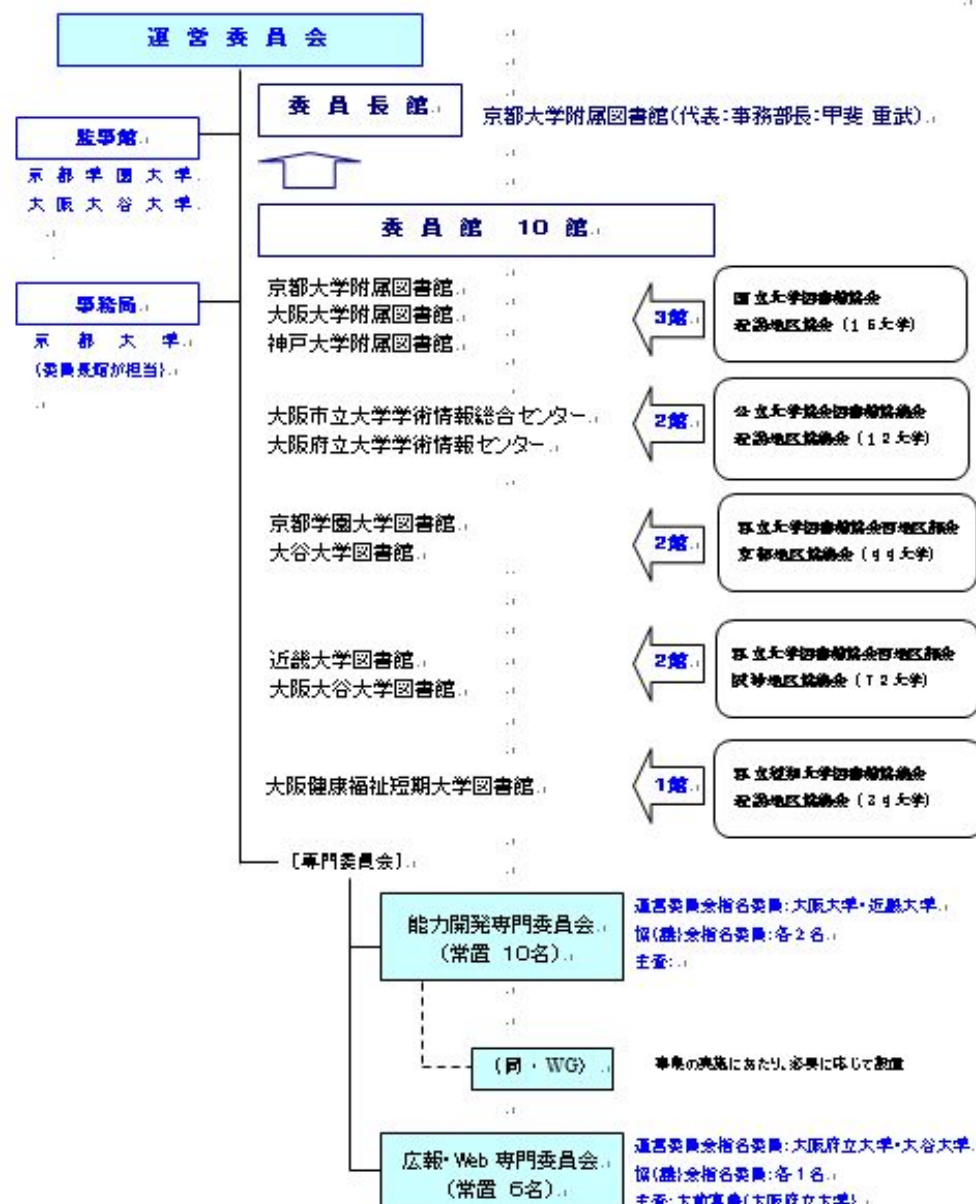
第1条

国立大学図書館協会近畿地区協会、公立大学協会図書館協議会近畿地区協議会、私立大学図書館協会西地区部会京都地区協議会、同阪神地区協議会及び私立短期大学図書館協議会近畿地区協議会は、近畿地区の大学図書館（大学共同利用機関等を含む、以下同じ）において、**国公私立の設置形態を超えて共同で実施することが適当な事業等を行う**ため、近畿地区の大学図書館の連携・協力組織として、「大学図書館近畿イニシアティブ」（以下、「近畿イニシア」という。）を組織する。

「大学図書館近畿イニシアティブ」(近畿イニシア)組織構成図
(平成27年6月1日～平成29年5月31日)



(平成28年6月1日現在)



各図書館
協(議)会



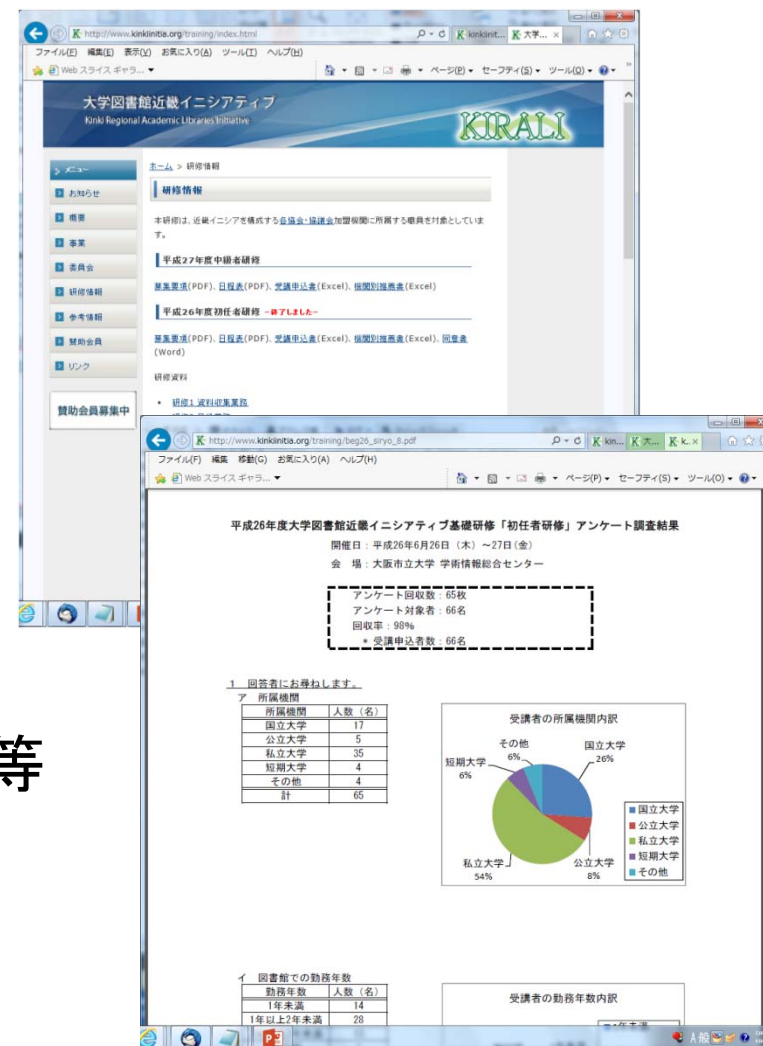
研修事業の充実

- 平18 基礎・初任者研修
- 平19 中級研修(広報)
- 平20 基礎・初任者研修
- 平21 中級研修

以降、「基礎・初任者」と

「中級(テーマ別)」を隔年ごとに

- ホームページ上で教材・アンケート等の情報を公開





賛助会員：平成19年度～

■ 検討・了承(2年目：平成18年度)

- 運営委員会(平成18年度第3回、2007.2.28)
- 賛助会員募集を審議。運営要項に賛助会員条項追加を承認。

■ 募集開始(3年目：平成19年度)

- 平19 11社
- 平20 12社
- 平21 10社
- 平22～ 14社～16社
- 平28.6現在 15社

法人・団体(長期)		
26L-002 (会員有効期限:2016年5月30日)	株式会社キャリアパワー	
26L-003 (会員有効期限:2016年10月10日)	システム	
法人・団体(一般)		
26L-004 (会員有効期限:2016年7月7日)	ユサコ株式会社	
27G-003 (会員有効期限:2016年7月7日)	プロクエスト 日本支社	
27L-004 (会員有効期限:2016年8月30日)	株式会社	
27L-005 (会員有効期限:2016年11月23日)	エルゼビア・ジャパン株式会社	
27L-006 (会員有効期限:2017年2月21日)	ナカバヤシ株式会社 大阪支社	
27L-007 (会員有効期限:2017年4月23日)	株式会社紀伊國屋書店	
27L-008 (会員有効期限:2017年5月29日)	EBSCO Information Services Japan 株式会社	
28G-001 (会員有効期限:2017年5月19日)	丸善雄松堂株式会社	



賛助会員とは

運営要綱

(賛助会員)

第8条 近畿イニシアに、賛助会員を設ける。

2 賛助会員は、近畿イニシアの活動に賛同する個人もしくは団体等で、会員になるにあたっては運営委員会の承認を得るものとする。

3 賛助会員は、運営委員会が別に定めるところにより近畿イニシアの活動や事業に参加することができる。

4 近畿イニシアは、必要に応じて賛助会員の周知を図る。

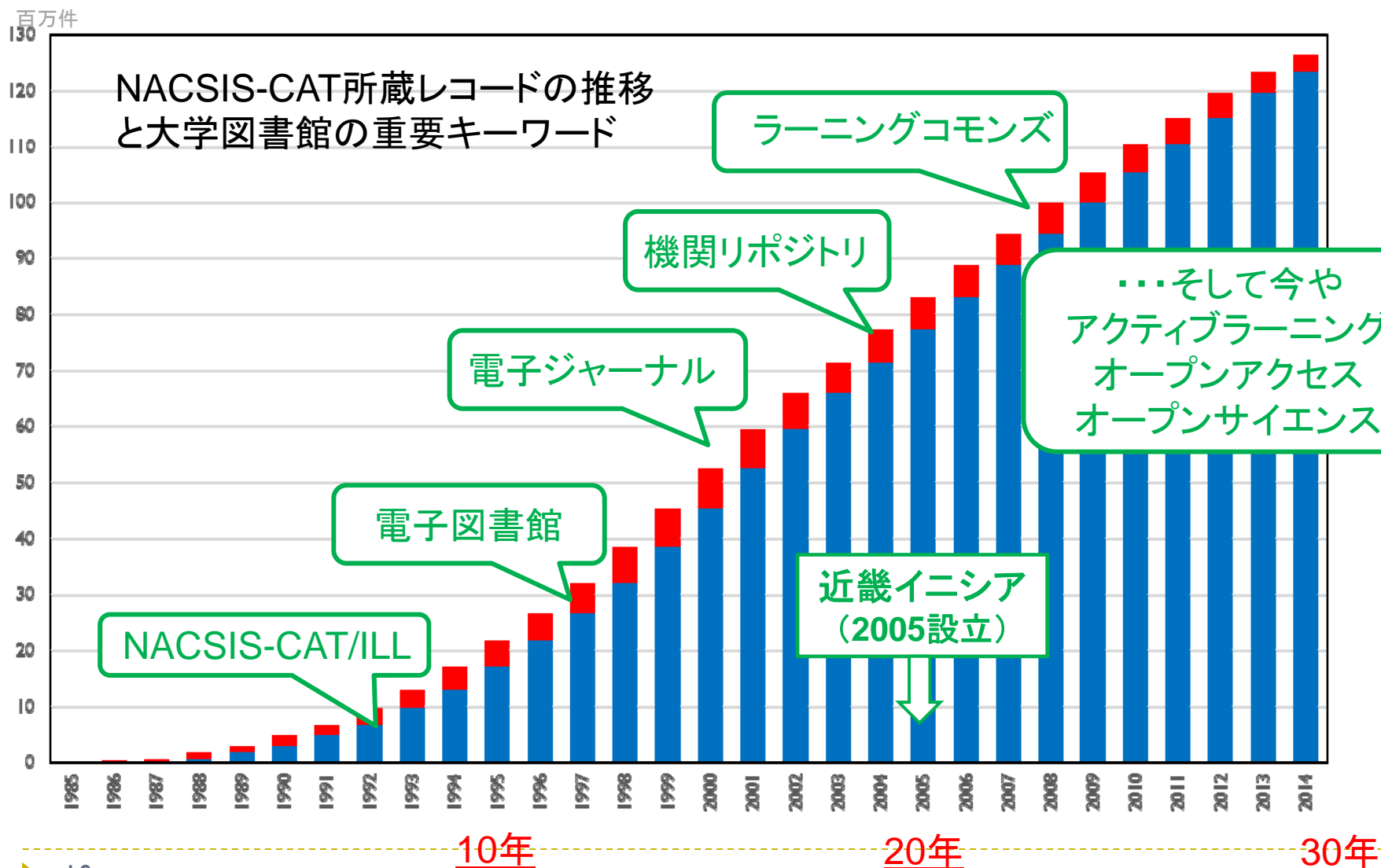
5 その他、賛助会員についての必要な事項は、運営委員会において別に定める。

(寄付)

第9条 近畿イニシアは、近畿イニシアの活動に賛同する個人もしくは団体等からの寄付を受けることができる。



大学図書館の過去30年間の枠組みの再構築 と近畿イニシア





大学図書館と国立情報学研究所との 連携・協力推進会議と近畿イニシア

■ JUSTICE

■ 機関リポジトリ推進委員会

→平28.7「オープンアクセスリポジトリ推進協会」設立総会予定

■ これからの学術情報システム構築検討委員会

■ 全国的なコンソーシアム活動や関連する研修活動の 地域的な実施組織としての、近畿イニシアの可能性。



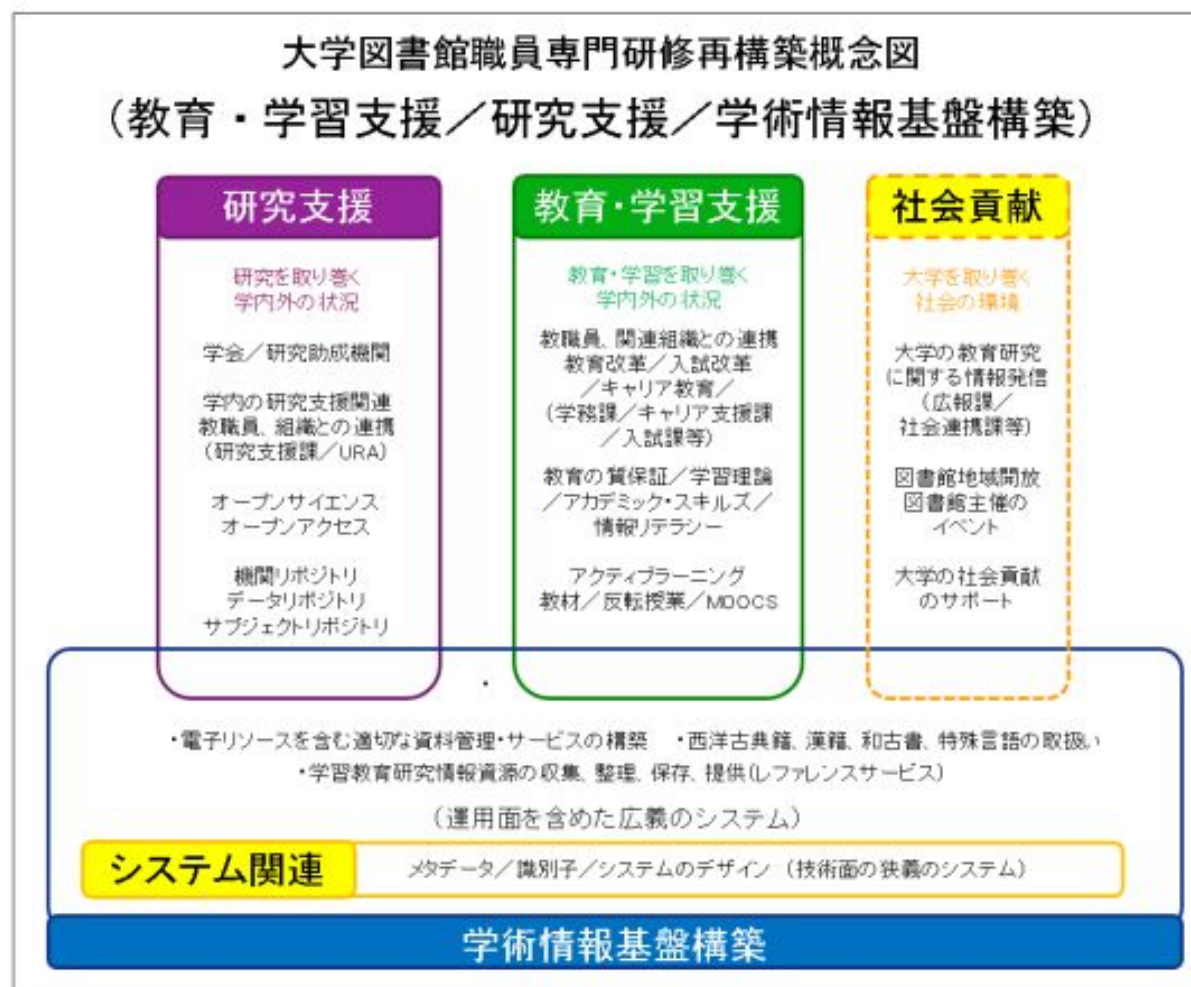
大学図書館職員研修の新たな動向

- 国公立大学図書館協力委員会 研修のあり方に関するワーキンググループ

『大学図書館職員の専門性と専門研修のあり方について(報告書)』(平27.12)

- これからの大学図書館の専門性と研修
- NII中心の研修事業から大学が主体的に
- NIIとのさらなる連携・協力

大学図書館職員の専門性



『大学図書館の整備について(審議のまとめ)』(平22科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会 学術情報基盤作業部会)をもとに作成



専門性の再構築

- 各専門性の重要度・優先度は大学により異なる
 - ✓ 大学の特色
 - ✓ 機能分化、自らミッションを定める

- 研修の方向性
 - ✓ 安定的・継続的な業務にかかるもの
 - ✓ 変化に対応した新しい枠組みの構築に資するもの

- 限られた資源（財源、人材、etc.）
 - ✓ 業務委託の進行、現場での能力開発の困難さ
 - ✓ 人材の集約化と高度化



今後、検討されるべきこと

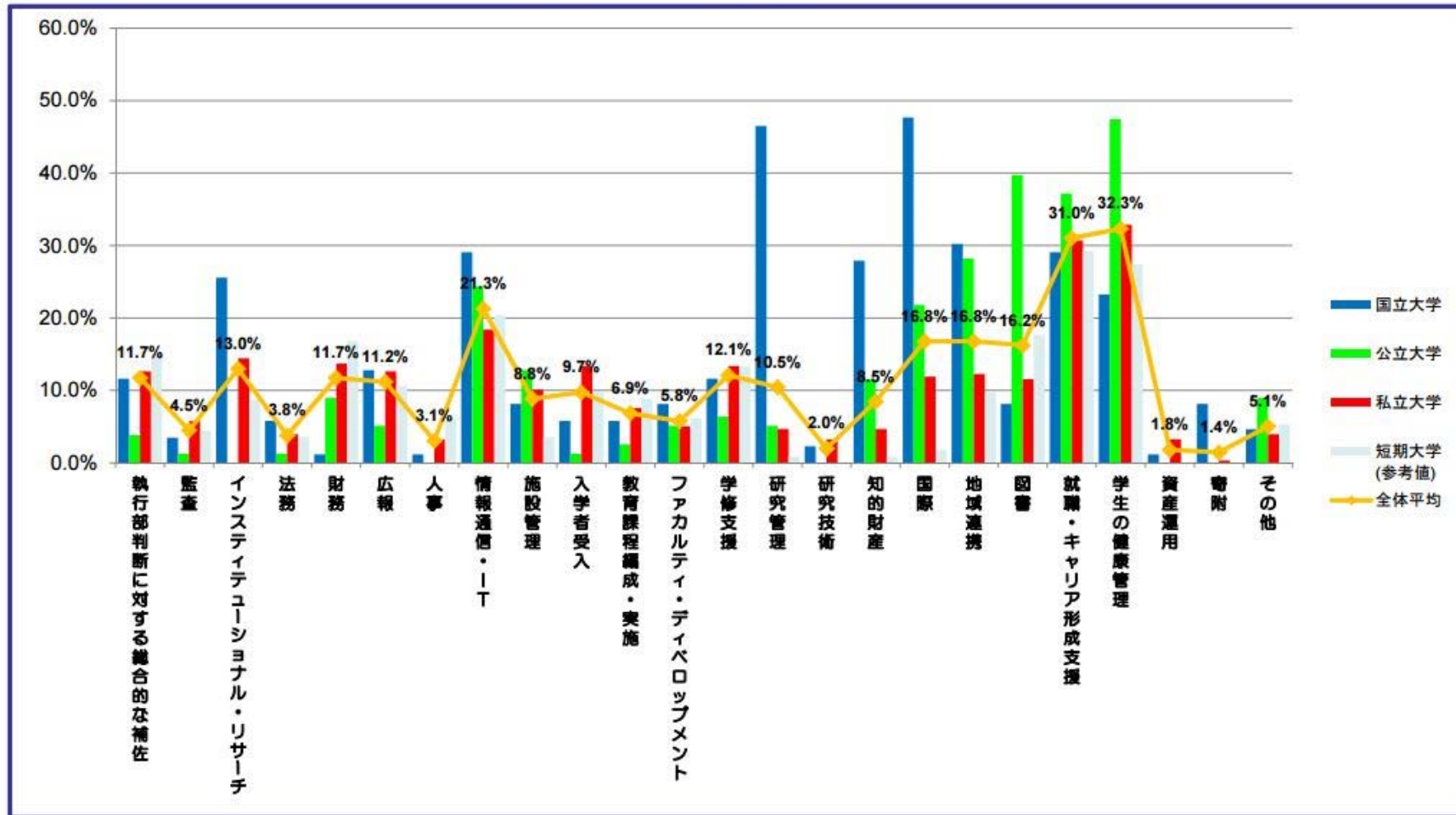
- 大学図書館職員の専門性について捉え直す
- 研修は人材育成の手段としては一部を担えるに過ぎない

研修を受けることで、
大学図書館の働きはどう変わったか、どう改善されたか

大学図書館の働きによって、
学生や教職員に良いもの(こと)があったか

■ 現在配置していて特に重要と考える専門的職員

- 全体平均においては、現在配置していて特に重要と考える職務の上位として「学生の健康管理」「就職・キャリア形成支援」等の学生支援系、「情報通信・IT」があがっている
- ただし、設置主体別によって、重視する職務には差異が認められる



出典：文部科学省「大学における専門的職員の活用実態把握に関する調査」